

1979: 梅雨前線帯の豪雨, 気象研究ノート, 138, 277pp.
 Nitta, T. and S. Sekine, 1994: Diurnal variation of convective activity over the tropical western

Pacific, J. Meteor. Soc. Japan, 72, 627-641.
 予報部予報課, 1995: レーダー・アメダス解析雨量の解析手法と精度, 測候時報, 62, 279-339.

Characteristics of Diurnal Variation of Precipitation around Kyushu District during the Baiu Season

Kazuo Kurihara* and Teruyuki Kato**

* (Corresponding author) Atmospheric Environment and Applied Meteorology Research Department, Meteorological Research Institute, Tsukuba 305, Japan.

** Forecast Research Department, Meteorological Research Institute.

(Received 28 April 1997; Accepted 30 June 1997)

====支部だより====

関西支部1997年度第1回例会

日本気象学会関西支部は、1997年度第1回例会（近畿地区）を次のとおり開催します。多数の参加をお願いします。

日時：1997年10月22日（水）13：00～17：00

会場：京都地方気象台

京都市中京区西ノ京笠殿町38

TEL 075-823-4302

テーマ：「中小規模現象」

特別講演

「熱的に誘起される局地風とその中での重力流の挙動」
 植田洋匡（京都大学防災研究所）

特別講演

「関西国際空港の空港気象ドップラーレーダーによる

降水と風の観測」

石原正仁（関西航空地方気象台）

1. 都市域とその周辺における大気メタン・オゾンに関する解析

岩嶋樹也（京都大学防災研究所）

2. メソ対流系の重力波励起について

*重 尚一（京都大学防災研究所）

里村雄彦（京都大学理学研究科）

3. 海陸風の数値シミュレーションについて

*畠山拓治・田中正昭（京都大学防災研究所）

4. 京都府の降雪分布予測について

瀧 良二（京都地方気象台）
